

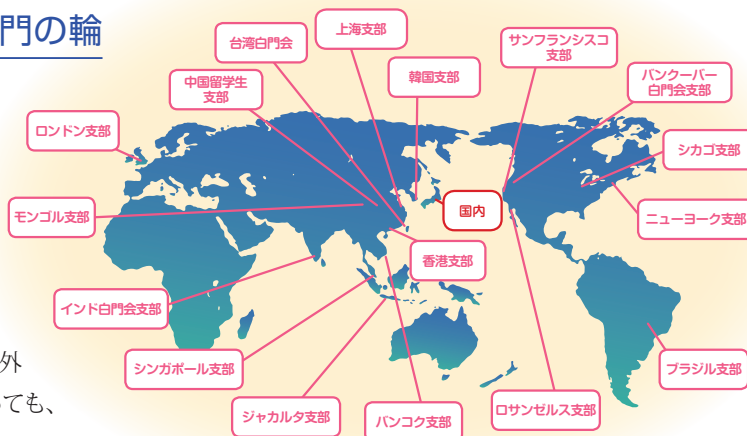
世界各地から、母校の発展と興隆を願って

グローバルに広がる白門の輪

学会では、母校の「グローバル人材育成」に呼応し、海外で活躍する数多くの会員や、これから世界で活躍する在学生のネットワーク拡充に努めています。

現在、学会には17の海外支部・白門会があります。海外支部・白門会に所属する会員は、日本から遠く離れた地にあっても、母校のさらなる発展と興隆を願いながら日々活動しています。

主な活動として、親睦会や情報交換会のほか、その国を訪れる大学関係者や会員・学生の歓迎会、学生の留学支援や就職支援といったサポートを積極的に行っています。国際社会への貢献に資する人材を中央大学からより多く輩出するための、その環境を整え、応援しているのです。それらの中から、6つの支部・白門会の活動報告を紹介します。



バンクーバー白門会支部

2014年10月に正式な支部としてスタートを切りました。会員の多くは日本からの移住者です。

一方で英語学習を目的とした短期留学生や長期交換留学で来る現役の本学学生も多く、現在は年数回の懇親会や歓迎会を通じて、交流を深める活動を中心としています。

今後は幅広い年代の会員のさまざまな経歴を活かし、短期滞在者や新たに移民する会員への生活アドバイスやサポートを提供していきたいと思っています。また、バンクーバーで起業したり、独自のビジネスを展開している会員もいため、ネットワーキング活動による会員相互のビジネス機会の活性化を目指してまいります。



台湾白門会

1983年に台湾人の日本留学が認められ、台湾と日本との交流も頻繁になってきました。そこで母校のために何かできることはないかといろいろ探り始め、やっと形になったのが1999年。戦時中に学業中断を余儀なくされた先輩たちのための、「中央大学特別卒業証書贈呈式」です。そのときの感動を胸に、当時の幹部たちは同窓会を組織化し、中大と卒業生との間の懸け橋として未長く存続していこうと心に決めたのです。

やっとの思いで2014年に会員総会を開き、会員約60名でスタートしました。先輩たちと力を合わせ、母校と台湾人留学生のため、手探りながらも努めていきたいです。



モンゴル支部

2015年1月、15番目の海外支部になるモンゴル支部を立ち上げました。

モンゴルは日本政府が地政学上からも重要視する東アジアの親日国です。

支部会員はモンゴル駐在の日本人だけに限らず、モンゴルに駐在していた元駐在員やモンゴルと通商貿易投資関係のある日本企業の方々が集っています。インターンシップのため来学する本学学生も数多くいます。

日本とモンゴルの関係強化の礎を、会員が支えることに誇りをもって取り組んでいるモンゴル支部に、今後ともご注目と特段のご支援を頂戴したいと考えております。



中国留学生支部

2008年11月、本支部の前身となる「中国白門会

留学生校友会」が発足し、母校の発展に一層貢献できるようさらに組織を固めるべきであるという要望に応えて、中国留学生支部として正式にスタートすることとなりました。

中大に留学した中国出身の会員で組織し、一番人数の多い上海と東京に本部を置いています。また、在学生の中国留学を推進したい観点から特例として中国留学中の在 student と留学経験者も入会できるようにしました。

中大のグローバル化に協力し、中国における母校の名を高揚すること、後輩への支援は、本支部の最も重要な事業だと考えます。母校と学会の発展に寄与するよう活動していく予定です。



ロンドン支部

1994年に設立し、毎年の懇親会で近況報告とお互いの激励をするなど、息長く活動を続けて友好を深めています。

2015年6月には日帰りバス旅行を催しました。ロンドン中心部のピカデリーサーカスから小型バスに乗って、ワイナリー訪問、海辺のレストランでの昼食、ヘイスティングス海岸及びイーストボーン海岸の散策。参加者全員がお腹もハートも大満足。帰途のバス内では全員爆睡状態でロンドンにたどり着きました。

ロンドンの地で、業種も世代も異なる私たちがですが、「白門」というだけで、一瞬にして心を許して親しくなれる。そんな白門会を今後も大切にしていきたいと思っています。



シカゴ支部

当支部は1987年に設立、現在アクティブな会員は11名です。

2015年8月下旬には本学の協定校ベネディクトン大学に交換留学でやってくる本学学生が会員宅に短期ホームステイし、壮行会を行いました。会員は、当地での実業経験に加え、在学中からグローバルな経験を持つ人、エンジニアとして異文化でのモノづくりを担う人、幼少期より海外での生活を経験している人など、本学のグローバル化推進に役立てられるキャリアを持っています。

またFacebookも立ち上げました。物理的に当支部会に足を運べないシカゴ在住の潜在OB・OGとの情報交換の場として活用されたいくよう期待しています。

